

## TY-1709 CDラジカセ

### はじめに

この度はステレオCDラジカセ・USB・TFカードプレイヤーTY-1709をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

- ※ この取扱説明書をよくお読みの上正しくご使用下さい。
- ※ 本取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管して下さい。
- ※ 付属品をお確かめ下さい。

### ◆ 目次

安全上のご注意 及び ご使用にあたってのお願い	.....	2-4
主な特長及び付属品	.....	4
各部名称	.....	5-6
ご使用になる前に	.....	7
電源を操作する	.....	8
CDについて	.....	9
CD/MP3-CDの再生	.....	10
カセットテープの再生と録音	.....	11-12
ブルートゥースの操作	.....	12
USBメモリー/TFカードの操作	.....	13
ラジオの操作	.....	14
外部機器との接続	.....	14
製品仕様	.....	15
保証書	.....	16



# 安全上のご注意

■ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

■お読みになった後もいつでも見れるところに必ず保管して下さい。

**絵表示について** この取り扱い説明書には、使用者が製品を安全にお使いいただき、理解し易い様に色々な絵表示を使用しています。誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。いずれも重要な内容ですので必ず守って下さい。

## 絵表示の例

	<b>警告</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損傷の発生が想定される内容を示しています。
 <small>分解禁止</small>	記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜く)が描かれています。

## 警告

 禁止	交流100V以外の電圧では使用しないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。	 禁止	本機に水をかけたり、濡らしたり、また本機の上に水などの入った容器や小さな金属物をおかないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。
 注意	本機を落としたりして破損した場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。 * そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対にお止め下さい。特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。	 禁止	電源コードやプラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 * コードやプラグの修理は販売店にご相談下さい。
 接触禁止	雷が鳴っている時は、絶対にAC電源プラグに触れないで下さい。 * 感電の原因となります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜いたり差したりしないで下さい。 * 感電の原因となります。
 分解禁止	絶対に分解したり・修理・改造は行わないで下さい。(キャビネットも外さないで下さい。) * 火災・感電の原因となります。 販売店で点検・整備・修理をご依頼下さい。	 禁止	本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落としたりしないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。

## ⚠ 警告



**注意**

変な臭いや音がしたり、煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。  
\* そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対におやめ下さい。



**注意**

本機の中に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源コンセントから本体の電源プラグを抜いて下さい。  
\* そのまま使用すると、火災、感電の原因となりますので、販売店にご相談下さい。



**指示**

電源プラグのほこりや汚れを定期的に乾いた布でふき取って下さい。  
\* プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁劣化となり、火災の原因となります。



**禁止**

乾電池を充電しない。  
\* 乾電池の晴れるや液漏れが発生し、火災や怪我、更に故障の原因になります。

## 注意



**注意**

電源プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。  
\* 差込が不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。  
\* 抜く時は、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いて下さい。



**禁止**

本機に布をかぶせたりしないで下さい。  
\* 内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、ご注意下さい。  
\* テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないで下さい。  
\* 本機を押入れなどの風通しの悪い狭いところで使用しないで下さい。



**注意**

効果的な放熱の為に、他の機器との間は少し離して置いて下さい  
\* 間隔が不十分ですと、火災・故障の原因となります。ラック等に設置する時は、本機の前後左右天面から15cm以上のすきまを空けて下さい。



**禁止**

直射日光が当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かないで下さい。  
\* キャビネットや部品の故障の原因となったり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

本機を移動する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、外部接続コードをはずして下さい。  
\* 感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全の為に、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いて下さい。  
\* 感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

長時間使わないときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。  
\* 火災の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

各機器との接続のときは、必ず電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、取扱説明書に従って接続して下さい。  
\* それぞれの機器の取扱説明書をよく読み指定のコードを使用して接続して下さい。



**禁止**

振動する場所やぐらつく台の上、傾いた所等、不安定な場所に置かないで下さい。  
\* 倒れたり、落ちたりして怪我の原因となります。



**禁止**

湿気や埃の多い場所には置かないで下さい。  
\* 火災や感電の原因となります。

## ご使用にあたってのお願い

### ■必ずお守り下さい。

左右及び天面、後面の間隔は15cm程度空け、通気の良いところに置いて下さい。  
熱がこもる状態で使用されますと、保護回路が働き音声レベルが下がったり、内部部品が破損する恐れがあり危険です。



**定期的**に内部の掃除が必要です。販売店にご相談下さい。

本機の内部にほこりがたまったまま長時間使用しますと、火災や故障の原因になることがあります。特に湿気の多くなる梅雨時期前に行うと、より効果的です。掃除費用については販売店にご相談下さい。

- 本機は民生用の音楽などを再生する目的で設計されております。従って信号発生器や音楽以外のデータが記録されたUSBメモリー等を使用し、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーをいためる原因となる事があります。
- オーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用オーディオインターフェース機器との接続は本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因となる事があります。
- ブラウン管式のテレビ等にスピーカーを近づけますと、映像がスピーカーとテレビ等の内部にある永久磁石の影響でゆがんだり、画面と色がにじむ場合があります。十分に間隔を取る様にして下さい。
- 本製品の再生中に製品本体の近くで携帯電話などをご利用になりますとその電波により雑音が発生する場合があります。雑音が発生する場合は携帯電話などを機器から離してご利用下さい。故障ではありません。

## 主な特長

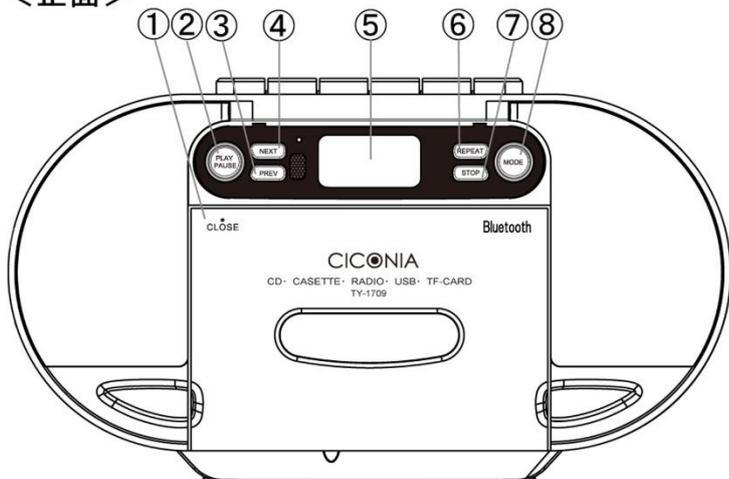
- 持ち運びに便利な大型ハンドル付き
- CDプレイヤー
- AM/FMラジオ
- ブルートゥース無線接続
- 外部音声入力端子(AUX-IN)
- USBポート(MP3音楽ファイル再生)
- マイクロTFカード挿入口(MP3音楽ファイル再生)

## 付属品

- AC電源コード(本機専用。他の機器には使用できません)。
- リモコン(単4電池x2は含まず)
- 取扱説明書(保証書付)

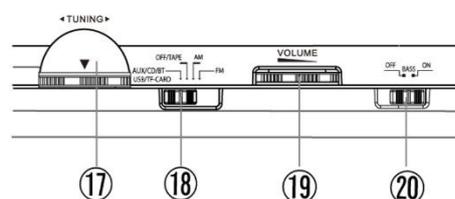
# 各部の名称

## <正面>



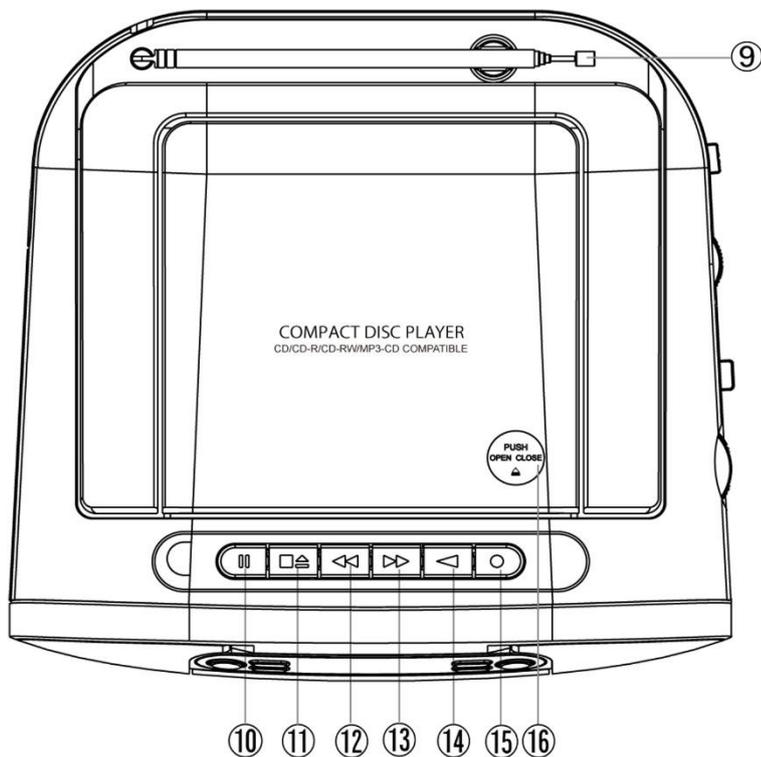
- ① カセットドア閉じポイント
- ② 再生/一時停止
- ③ 前へ戻る
- ④ 次へ移動
- ⑤ LCD表示
- ⑥ 繰り返しモード選定
- ⑦ 停止
- ⑧ モード選定

## <右側面>



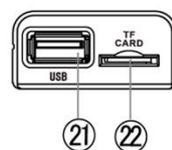
- ①⑦ ラジオ選曲
- ①⑧ モード切替
- ①⑨ 音量調整
- ①②① 低音増強効果入/切

## <上面>



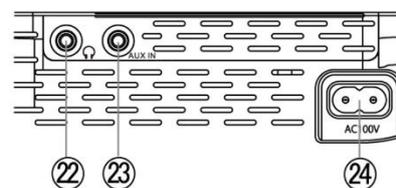
- ①⑨ FMロッドアンテナ
- ①⑩ 再生一時停止
- ①⑪ 停止/カセットドア開
- ①⑫ 早送り
- ①⑬ 早戻し
- ①⑭ 再生
- ①⑮ 録音
- ①⑯ CDドア開閉ポイント

## <左側面>



- ①②① USBポート
- ①②② TFカード挿入口

## <後部>



- ①②② ヘッドフォン端子
- ①②③ AUX-IN(外部音声入力)端子
- ①②④ AC電源コード端子

# 各部の名称

## <リモコン>



- ②⑤ <CD/USB/CARD> モード選択  
希望の再生モードを選択します。  
CD(工場初期設定)⇒USB⇒カード⇒ブルートゥース⇒(CDに戻る)
- ②⑥ 曲番ダイレクト選曲  
再生希望の曲番号を直接入力し選曲します。
- ②⑦ <PREV/REW> 戻る/早戻り  
長押しで、早戻りになります。
- ②⑧ <PLAY/PAUSE> 再生/一時停止  
押す毎に、再生⇄一時停止となります。
- ②⑨ <NEXT/FF> 次に移動/早送り  
長押しで、早送りになります。
- ③⑩ <STOP> 停止キー
- ③① <MODE> 再生繰り返しモード設定  
一曲目から通常再生⇒REP(一曲繰り返し)  
⇒ALL(全曲繰り返し)⇒FOLDER(ホルダー内繰り返し)  
⇒RAND(ランダム再生)
- ③② 曲番号ダイレクト選曲/\*フォルダー選曲(前戻り)  
停止モード時、一回押すと合計フォルダー数が表示され、  
押す毎に前のフォルダーに戻ります。
- ③③ <PROG> プログラム再生設定
- ③④ 曲番号ダイレクト選曲/\*フォルダー選曲(次に移動)  
停止モード時、一回押すと合計フォルダー数が表示され、  
押す毎に次のフォルダー移動します。  
(\* 記号ついた操作はMP3再生時に有効です。)

# ご使用になる前に

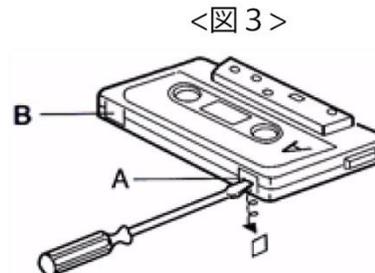
## ■設置

本体を水平に且つ安定する場所に設置して下さい。

- \* 水平に設置しない場合、CDディスクの回転に影響を及ぼす場合があります。
- \* 外部からの振動の影響を受けない個所に設置下さい。CD再生中に外部からの僅かな振動の影響で、音飛びが発生する場合があります。

## ■カセットテープについて

- \* テープがたるんだ状態で本体に装着しない。たるんでいる場合は、下図<図1>の様に鉛筆や六角形状のボールペン等でたるみをなくします。
- \* カセットに録音する時は、下図<図2>の様にカセット後部にある、「録音防止ツメ」を確認する。ここが折れていると録音できません。又、録音の上書きを防止(つまり内容の保存)をする時は、下図<図3>の如くこのツメを折っておきます。又、逆に、ツメのないテープに上書きする場合は、下図<図2>の様にツメの部分テープ等で塞ぎます。
- \* 保管は必ず、カセットケースに入れて保管する。(テープ表面に埃やごみがつきますと、本機が正常に機能しません。埃や指紋は音のひずみとなります)。



## ■本機で使用可能なUSBメモリー/TFカードについて

- \* 本機で再生可能ファイル形式はMP3形式(拡張子が.mp3)のみとなります。
- \* USBハブには対応しておりません。
- \* 容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- \* 本機でUSBメモリー内に記録されたファイルの消去やデータ等の編集はできません。
- \* 使用可能メモリー容量は16GB迄ですが、読み取りに時間がかかる場合があります。

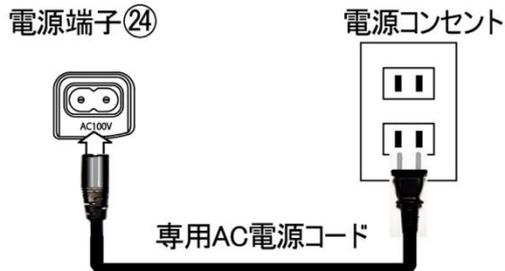
## ■Bluetoothについて Bluetooth

- \* 本機採用のBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに干渉して通信速度低下や接続不能になる事があります。この場合は、出来るだけ離して(10m程度)使用します。
- \* 全てのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。又、条件によっては接続に時間がかかる場合があります。
- \* 同時接続台数と記憶可能ペアリング台数はそれぞれ1台のみとなります。
- \* 通信距離は、約10m程度(オープンエリアで障害物無しの場合)ですが、周囲の環境により、変わる事があります。又、お使いの接続する機器によっては接続できない場合もあります。
- \* 本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明を受けておりますので、改造したりなどと電波法に抵触しますので、絶対に改造を行わない様をお願いします。

# 電源を操作する

## 家庭用電源で使用する場合

1. 本機⑩モード切り替えスイッチを「OFF/TAPE」の位置に設定します。
2. 付属のAC電源コードを本機⑭電源端子に、片側のプラグを100V電源コンセントにそれぞれ差し込みます。

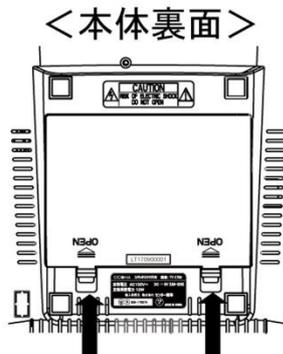


## 警告

- ※ 水のかかる場所で使用する時はAC電源に接続しない。
- ※ AC電源利用の場合は家庭用交流100Vのコンセントに必ず接続する。
  - ・交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因になります。
- ※ ぬれた手で電源コードを抜き差ししない。感電の原因となることがあります。
  - ・付属のAC電源コード以外は使用しない。付属以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
  - ・持ち運ぶときは、ACコードを抜き、温度が下がってから行ってください。

## 乾電池で使用する場合

1. 本機⑩モード切り替えスイッチを「OFF/TAPE」の位置の設定します。
2. 下図の様に本体裏面の電池蓋のレバーを指で押して蓋を開けます。
3. 単2サイズの乾電池6本を極性を間違わないように装着します。
4. 電池装着後、電池蓋をとじます。



このレバーを指で押して  
電池蓋を開けます。

## 警告

1. 種類や新旧異なる電池を混用しない。
2. 長期間、ご使用にならない時は必ず電池を抜いておく。そのまま放置しておくと液漏れした後、その液で端子が錆びてしまい次回電池を装着しても、二度と使用できなくなります。
3. 電池の+/-は間違えずに正しく装着する。

# CDについて

## CDについて

音楽CD, CD-R, CD-RW 及び ISO9660に準拠したMP3-CD

※CD-Gはご使用になれません。

※本製品は、CDの標準規格に従って設計されていますので、規格外のCDディスクを使用した場合、動作しない場合があります。

## ディスクを取り扱う時のご注意

- ディスクは、必ずラベル側を上側にし、がたつかない様に、確実に装着して下さい。傾いたまま装着し、動作させると本体の故障の原因となりディスクも傷つきます。
- ディスクを持つ場合は、ディスクの記録面を手で触れない様にし、ディスクの中心の穴と外周を指ではさんで持って下さい。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、音質劣化の原因になり、ひどい場合はディスクが動作しません。
- 記録面の指紋、ゴミ等がある時はやわらかい布で、中心から外側に向かって軽くふきます。
- 使用後のディスクは、ゴミや汚れを防ぐため、必ずケースに入れて保管下さい。

## 必ず守って下さい。

- ベンジンやシンナー、アルコール、レコードクリーナー、静電防止剤等の化学溶剤は、ディスクをいためる事がありますので使用しない。
- ラベルなどを、記録面に貼らない。
- ペンなどでディスクに書き込みをしない。
- ディスクを無理に曲げたり、そらしたりしない。
- 直射日光が当たるところや、暖房器具のそばなど、高温や湿気の多いところに保管・放置しない。
- 長時間使用しない時は、本機よりディスクを取り出し、ディスクはケースに入れて保管する。

## ディスクを再生する時のご注意

- 再生中に、本体をたたいたり、動かしたりして振動を与えないで下さい。音飛びや故障の原因になります。
- ディスクトレイには、ディスク以外のものを、絶対に入れないで下さい。
- ディスク再生中は、ディスクドアの開閉は絶対に避けて下さい。必ず 停止ボタンを押し、ディスクを完全に停止させてからドアを開閉下さい。
- CD挿入は、必ず光っている記録面を内側にして一枚のみ入れて下さい。

## ★お願い★ データの破損について

お客様の取扱いや、静電気、電氣的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## CD/MP3-CDの再生

### 通常の音楽CDの再生

1. 付属のAC電源コードを本機 ⑭電源端子に、片側のプラグを100V電源コンセントにそれぞれ差し込みます。
3. 本機 ⑮モード切り替えスイッチを「AUX/CD/MP3/BT」の位置に設定します。
4. 本機 ⑤のLCD表示が点灯し、左上に小さく「CD」と表示され、ディスクを挿入する前は、表示画面の中心に「NO」の文字が表示されます。
5. 本機 ⑯CDドア開閉ポイントを押して、CDドアを開けます。
6. 再生したいCDディスクをディスク回転軸にカチット音がする迄、押し下げて正しく装着します。
7. 装着すると、LCD表示部に、1)ディスクに記録されているトラックの合計が表示され、2)トラック1から自動再生を開始し、3)その後再生時間が表示されます。
8. 停止するには、本機 ⑰停止キー 或いは リモコン⑳〈STOP〉キーを押します。  
一時停止するには、本機 ⑱再生/一時停止キー 或いは リモコン㉑〈PLAY/PAUSE〉キーを押します。  
\*このキーを押す毎に再生⇄一時停止となります。

### MP3-CDの再生

1. 通常の音楽CDの再生と同じ方法で、上記の6まで操作します。
2. 装着すると、LCD表示部上部に1)小さな文字「MP3」が表示され、2)フォルダー数が表示され、3)トラック1から自動再生を開始し、4)その後再生時間が表示されます。
3. 停止・再生・一時停止の操作は「通常の音楽CD再生」と同じです。

### 各種操作

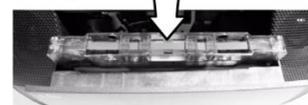
- 早送り/次のトラックへ移動： 本機 ⑳次へ移動キー（リモコン㉒〈NEXT/FF〉）を長押しすると、早送りとなり、軽く短時間押しと、次のトラックに移動します。
- 早戻り/前のトラックに戻る： 本機 ㉓前へ戻るキー（リモコン㉓〈PREV/REW〉）を長押しすると、早戻りとなり、軽く短時間押しと、前のトラックに戻ります。
- 繰り返し再生： 本機 ㉔繰り返しモード選定（リモコン㉔〈MODE〉）を押す毎に⇒REP（一曲繰り返し）⇒ALL（全曲繰り返し）⇒FOLDER（ホルダー内繰り返し）⇒RAND（ランダム再生）⇒通常再生に戻ります。
- プログラム再生： 再生したいトラックを選択し、再生する順序を設定します。
  - (1) 本体を「再生停止モード」にします。
  - (2) リモコン ㉕〈PROG〉プログラム再生設定キーを押すと、「PO1」の文字が点滅します。
  - (3) リモコン ㉖曲番ダイレクト選曲で最初に再生したいトラックを選びます。
  - (4) 上の(2)を操作をくりかえすと「PO2」の文字が点滅します。
  - (5) 上の(3)の操作と同様に希望のトラックを選定します。
  - (6) 後は、(2)と(3)の操作をくり返して、設定をします。（合計99トラックまで設定可能です。）
  - (7) リモコン㉗〈PLAY/PAUSE〉キーを押して、プログラム再生を開始します。（この時LCD表示には「PROG」の小さな文字は表示されます。\*プログラム再生設定の解消は、停止キーを押します。

# カセットテープの再生と録音

## カセットテープを装着する

1. 本機上部の⑪停止/カセットドアキーを押し下げて、カセットドアを開けます。
2. カセットのテープが見える側を上にして、聞きたい面を前にして、カセット蓋の中のガイドに沿って最後まで挿入します。
3. 挿入後、①カセットドア閉じポイント部を押し確実にカチッと音がするまで、閉じます。

カセットテープが上に見える様に挿入する。



## カセットテープを再生する

1. カセット挿入後、本機右側面の⑩モード切替キーを「OFF/TAPE」に設定します。
2. 本機右側面の⑨音量調整ノブで、調整量の間程度に設定します。
3. 本機上部の⑭再生キーを押し下げると再生を開始します。
4. 以後の操作は、
  - \* 再生の一時停止 : 本機上部の⑩再生一時停止カセットを押し下げます。もう一度押すと、キーが上側に戻り、再生に戻ります。
  - \* 停止/カセットドア開き : 本機上部の⑪停止/カセットドア開を押し下げます。強く押すと、カセットドアが開きます。
  - \* 早送り : 本機上部の⑫早送りキーを押します。
  - \* 早戻り : 本機上部の⑬早戻りキーを押します。

### <ご注意>

テープ巻き取りが終わったままの状態、停止キーを長時間押し忘れると、モータは回転していますのでテープの伸びや、メカの故障の原因となりますので、ご注意下さい。

### ■自動停止機能

再生と録音時に、テープが最後になると、再生キーが上に戻り、自動停止します。しかし、早送りと早戻りモードの時は、巻き取りが終わっても、キーが戻り自動停止はしないので、巻き取りが終わったと思われたら、停止キーを押して、巻き取りを停止します。

## カセットテープに録音する

<ご注意> \* 録音したい側のツメが折れていない事を確認します。  
\* 録音は、以前の録音済み分の上に常に上書き録音されます。

### ■CDから録音する

1. CDの再生と同じ方法でCDを装着します。
2. CDを挿入すると、CDが自動再生開始しますので、トラック番号が表示されたら、すぐに本機正面の②再生/一時停止(リモコンの⑳PLAY/PAUSE)キーを押して、一時停止モードにします。
3. カセットテープを挿入後、本機上部の⑮録音キーを押し下げると同時に、本機正面の②再生/一時停止(リモコンの⑳PLAY/PAUSE)キーを押して録音を開始します。

### ■ラジオから録音する

1. 本機右側面の⑩モード切替キーを「AM或いはFM」に設定し希望のラジオ局を、同じく右側面の⑰ラジオ選曲つまみで選曲します。
2. カセットテープを挿入後、本機上部の⑮録音キーを押し下げると録音開始します。

### ■内蔵マイクから録音する

1. 本機右側面の⑩モード切替キーを「OFF/TAPE」に設定します。
2. カセットテープを挿入後、本機上部の⑮録音キーを押し下げると録音開始します。
3. 停止と一時停止のいずれかの操作は、上の「カセットテープを再生する」ページの(4)以降の操作と同じです。
  - \* 内蔵マイクからの録音はモノラル方式となります。

### ■カセットメカの手入れ

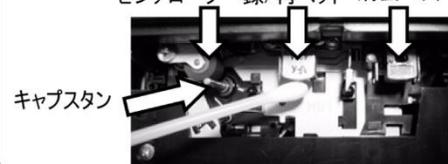
#### <ヘッドクリーニング>

- 1) 録音後の音にノイズが大きく録音されていたり、音質が歪んで聞こえる場合は、下の図の様に、綿棒の先端にクリーナー液を少し浸みこませ、その先端で図の様に録/再と消去ヘッドの表面を磨いてみる。
- 2) 長時間使用するとヘッドが磁化され、録音・再生音がぼそぼそ音がしますのでその場合は、市販のヘッド消磁器でヘッドを消磁して下さい。

#### <ピンチローラーやキャプスタンローラーの手入れ>

ヘッドと同様に、クリーナー液を浸みこませた綿棒で、表面を磨きます。

ピンチローラー 録/再ヘッド 消去ヘッド



## カセットテープの再生と録音(続き)

### カセットテープに録音する(続き)

#### ■USBメモリー 或いは TFカードから録音する

1. 「USBメモリーとTFカードの操作」で説明と同じ方法でUSBメモリー或いはTFカードの再生をします。
  2. (2)録音希望の音楽を選択すると同時に、本機の ②再生/一時停止 (或いはリモコンの ⑳<PLAY/PAUSE> 再生/一時停止キー)を押します。
  3. 本機上部の ⑩再生一時停止キーを押し下げおきます。
  4. 本機 ⑮録音キーを押し下げた後、本機正面の②再生/一時停止 (リモコンの⑳<PLAY/PAUSE>キーを押して録音を開始します。
- ※一曲毎の自動録音はしませんので、一曲毎に上記操作を行います。

## Bluetooth接続と操作

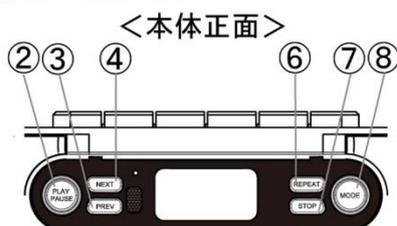
#### ■ご注意■

※外部機器とのBluetooth接続する際には、必ず1m以内で接続設定(ペアリングとも言います。)します。  
※⑳AUX-IN(外部音声入力)端子にケーブルが差し込まれていると、全てこのモードが優先となりますので、必ず、ケーブルが差し込まれていない事を確認します。(AUX-INにケーブルが差し込まれていると、前面LCD表示に「AU」の文字が表示されています。)

1. 本機右側面の⑱モード切替キーを「AUX/CD/MP3/BT」に設定します。
2. 本機正面の⑧モード選定(リモコン ㉔「USB/USB/CARD」キー)を何回か押してLCD表示の「bt」の文字を表示させます。(この時、LCD表示パネル左上の「POWER/BT」ランプの中の青色が短い間隔で早く点滅し、短い信号音が聞こえ、接続機器検索モードになります。)
3. Bluetooth搭載の外部機器の「Bluetooth」を「ON」に設定すると、外部機器の検索を開始 ⇒ 本機の製品名「TY-1709」が外部機器に表示 ⇒ 外部機器を「接続許可」を「入り」にします。
4. 本機との接続が成功すると、本機から短い信号が聞こえ ⇒ 同じランプ(赤色)の中の青色が点灯 ⇒ 接続完了を知らせます。
5. 接続後は外部機器で音楽再生を開始しますと、本機のスピーカーで再生音を楽しめます。(接続した外部機器と本機の ⑲音量調整つまみの両方で好みの音量に調整します。)
6. 接続を終了するには、⑱モード切り替えスイッチを「TAPE/OFF」に設定するか、接続した外部機器のBluetoothを「OFF」にしますと、本機との接続が切れ、切断を意味する信号が本機から聞こえます。

#### ■接続後の操作

本機の ②再生/一時停止 ③前へ戻る ④次へ移動 ⑥繰り返しモード選定 ⑦停止 ⑧モード選定 或いはリモコンの ㉔<PREV/REW> 戻る/早戻り ㉔<PLAY/PAUSE> 再生/一時停止 ㉔<NEXT/FF> 次に移動/早送り ㉔<STOP> 停止キー ㉔<MODE> 再生繰り返しモード設定で操作が可能です。



## USBメモリーとTFカードの操作

### ★重要なお願い★

1. 挿入後、動作がおかしくなったり、フリーズした場合は、⑩モード切り替えスイッチを「OFF/TAPE」に設定し、ACコードを抜き、暫くしたあとで、再度ACコードを接続して使用ください。
2. それでも、おかしい場合は、そのUSBメモリーの内容・状態を調べて下さい。
3. ※⑳AUX-IN(外部音声入力)端子にケーブルが差し込まれていますと、全てこのモードが優先となりますので、必ず、ケーブルが差し込まれていない事を確認します。(AUX-INにケーブルが差し込まれていると、前面LCD表示に「AU」の文字が表示されています。)

#### ■再生可能ファイルはMP3形式のみ

- \* ISO9660に準拠したMP3方式で圧縮された音楽ファイル。
- \* 記録されたときの音声コーデックの条件により、音声が途切れる場合があります。



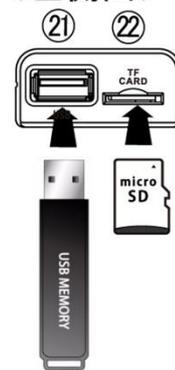
注意

記録状態により音とびや再生できない場合があります。

### USBメモリーとTFカードの装着

1. 本機左側面にある、⑳USBポートにUSBメモリーを 或いは ㉑TFカード挿入口に確実に最後まで挿入します。
2. 取り外す際には本機の⑩モード切り替えスイッチを「OFF/TAPE」の位置にするか、他のモードに切り替えた後に外します。
3. カードを取り外すには、このTFカードの見える頭を再度ツメ等で押して取り外します。

<左側面>



### 再生と操作

1. ⑩モード切り替えスイッチを「AUX/CD/MP3/BT」の位置に設定します。
  - \* この時、工場の初期設定により、CDモードとなります。
2. 本機左側面にある、⑳USBポートにUSBメモリーを 或いは TFカードを ㉑TFカード挿入口に確実に最後まで挿入します。
3. 本機 ⑧モード選定キー(リモコン)㉒<CD/USB/CARD>モード選択を押して、再生したいモードを選定します。
4. 選定終了しますと、自動再生を開始します。
  - \* 自動再生は前回再生を中止した時点から再開します。
4. 再生開始後は、ブルートゥース再生ページに説明の「接続後の操作」と同じ方法で再生可能です。

#### ■ご注意とお願い

- ※本機のUSBポートは充電用ではありませんので、他外部機器への充電は避けて下さい。
  - 仮に充電可能に見える場合でも、本機の電源等に悪影響、或いは破壊につながる可能性がありますので、絶対に避けて下さい。
- ※USBメモリー再生中にこのメモリーが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

## ラジオの操作

1. 本機右側面の ⑩モード切替キーを、希望の放送局に合せ「FM」 或いは 「AM」に設定します。
2. 本機右側面の ⑪音量調節を中間にしておきます。
3. 本機右側面の ⑰ラジオ選曲つまみを回して希望の放送局を聞きながら調整します。

■より良いラジオ放送の受信には、

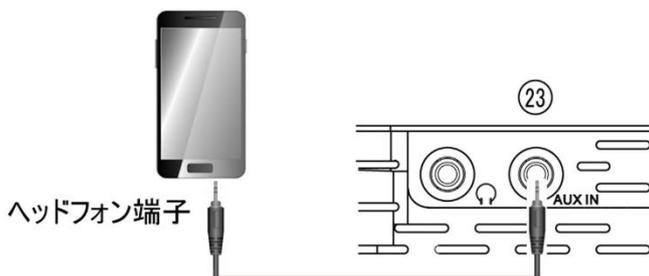
- ※FM受信の時： 本機の ⑨ロッドアンテナを一杯に伸ばして回転させ、一番良く受信できる方向で固定します。
- ※AM受信の時： 出来る限り、窓際に本体を置き、本機自体を左右に回転させて、もっとも良く受信できる位置で設定します。

## 外部機器との接続

- \* 本機には、⑳「AUX-IN」端子が搭載されていますので、外部機器と接続し、本機を外付けスピーカーとして外部機器の音を聞く事が可能です。
- \* 或いは、本機の音を、外部の音響機器で聞く事もできます。

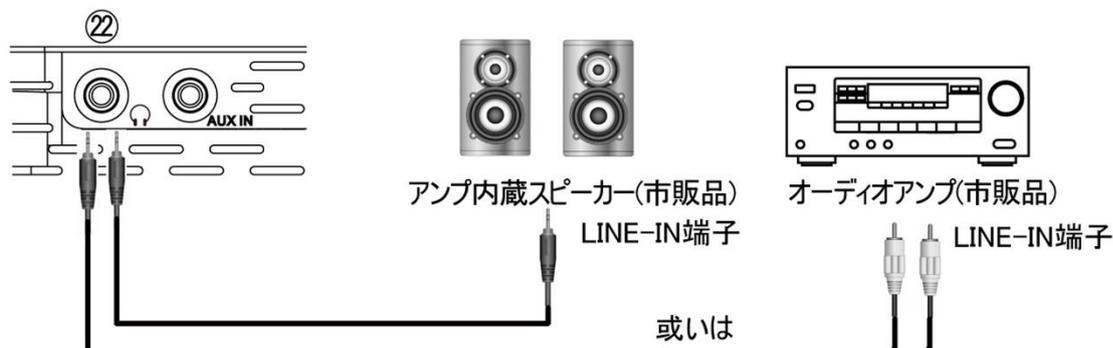
### 外部機器の音を本機で聞く

1. 本機の ⑱モード切り替えスイッチを「AUX/CD/MP3/BT」の位置に設定します。  
\* この時、工場の初期設定により、CDモードとなります。
2. 市販のφ3.5mmミニプラグオーディオケーブルを、本機の ㉓AUX-IN端子に差し込み、片方を接続したい外部機器のAUX-OUT(LINE-OUT)或いはヘッドフォン端子に接続します。  
\* この時、LCD表示部には「AU」の文字が表示されます。
3. 外部機器を操作します。(音量は外部機器と本機の音量コントロールで設定します)。



### 本機の音を外部機器で聞く

1. 接続する外部機器の電源を入れ、音量レベルを中以下に設定しておきます。
2. 本機の ㉒「ヘッドフォン端子」に市販のオーディオケーブル(両側ともφ3.5mmミニプラグタイプ、或いは片側が右/左が分割されているタイプのコード)を差し込みます。
3. 本機を操作して、音(音楽)を再生します。



## 製品仕様

CD部	形式	トップローディング方式
	対応CD	CD/CD-R/CD-RW
	S/N比	45dB以上
カセットデッキ部		ステレオ録音/再生、セミオートストップメカ
アンプ部	定格出力	1.0W×2
ラジオ部	FM	76-108MHz
	AM	530-1600kHz
USB部	再生可能フォーマット	MP3音楽再生(拡張子mp3)
ブルートゥース部	バージョン	Ver.4.0
	対応プロファイル	A2DP
	同時接続台数	1台
端子	入力	AUX-IN(3.5mm径)ミニプラグ
		USBポート
		TFカード挿入口
	出力	ヘッドフォン端子
基本仕様	電源	AC100V 50/60Hz、DC9V(単2形電池6本)
	消費電力	12W
	寸法(mm)	230(幅) × 224(奥行き) × 132(高さ)
	重量	約1.57Kg (本体のみ)
付属品	■取扱説明書 ■AC電源コード ■専用リモートコントロール	

\* 上記の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。